



総合質管理(TQM)部ニュース

2026年 3月号 (第32号)



今月は、医療安全管理課と感染管理課より報告です。

【医療安全管理課】センサー類の電源関連の事例の報告が増えています

文責：今村里美

センサーベッド・赤外線センサーの電源をOFFにした後、ONにすることを失念して患者さん動かれたことに気付かず転倒に至ったという事例が複数報告されています。センサー類の電源は原則OFFにしないこととしています。OFFにした場合は忘れずに「ON」にしましょう。センサー設置の理由も考えてみましょう。

なぜ「電源OFF」が危険なのか？

多忙な現場では
「入れ忘れ」は必ず起こる



割り込み業務による記憶の欠落が、システムの無効化を招きます。

他のスタッフの
「誤認」を誘発する



電源OFFは、次に訪室したスタッフに「センサー不要」と誤解させます。

今日から徹底する「安全の鉄則」

電源は切らず
「一時停止」を活用



ポーズ機能なら、設定時間が過ぎれば自動で監視が再開されます。

退室時は
「指差し確認」を徹底



ナースコール親機や廊下灯でセンサーが有効か必ず確認してください。

「切る」より「止める」で再開忘れゼロ



【感染管理課】“確実・安全”を創るIVナース育成について

文責：右田早苗

IVナース育成とは、看護職を対象に静脈注射の基礎知識と実技習得を目指す教育計画です。今年度看護部クリニカルラダーでは、130名の看護師が受講を終了しました。

【目的】安全に静脈注射が実施できるための基礎的知識、技術を身につける

【目標】安全に配慮し、静脈注射（ポート含む）の手技、管理ができる

【実施内容】

6月～9月 静脈注射の基礎知識（CV・末梢・PICC・ポート管理）の動画受講

9月～12月 実技演習＋口頭テスト

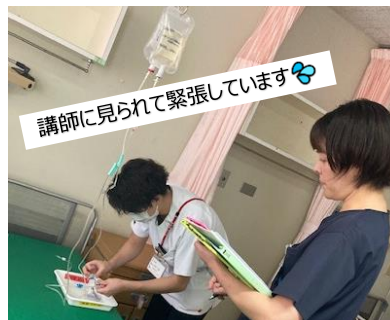
1月～3月 ICNが病棟巡回し、点滴管理手技を直接観察＋指導



講師自ら出演した教育動画を作成

実技演習でのポイント！

側管は5秒以上ゴシゴシと強く拭く



Message

点滴は患者さんの血管内に直接挿入されている器材です。菌が混入することで容易に菌血症を起こす恐れがあります。清潔操作を十分に意識し確実な点滴管理で患者さんの安全を守りましょう！来年度も継続して取り組みます！！



講師陣紹介

北2階 久保田和子 佐藤絵美 (CCN)

北1階 田中美紗 右田早苗 (ICN)